

代表世話人挨拶

平成二年度もすまに半年以上経過し、北海道も今や観光ブーム本番を迎えておりますが、不承の病気がたまたかにながら二日くをお送りの皆様いかがお過ごしでしょうか。お見舞い申し上げます。さて、この度長らくお世話になり活動を続けさせて頂きました難病連十勝支部を離れ、多くの方々のご支援とご期待により北海道難病連音更支部設立準備会として発足し、去る七月五日札幌より伊藤事務局長を迎え、オ一回目の会員相互の交流を図るべく懇談会を開催した所があります。今後は社会の狭間で寂しく暮らし、又いらいと精神面あるいは財政的に高負担を強られる方々と手をとり合ひ、明るく住みよい街づくりを微力ながら役立てばと存じます。どうか一層のご指導、ご鞭撻の程申し上げます。ご挨拶と致します。

役員紹介

代表世話人

菅原貞助 パーキンソン病

事務局、会計

穀内さかえ ベーチェット病

会計監査

藤田一義 腎友会

世話人

村中仁志 脊髄小脳変性症

児玉香枝子 小鳩会

穀内律雄 ベーチェット病

一九九〇年度音更支部準備会活動予定

・音更町社会福祉大会(九月三十日)実行委員会への参加

・年度内に親睦会

・相談活動

・準備会だより発行

・財政活動

・花火の販売(八月五日迄)

・メ飾りの販売

・北海道難病連の運営協力会員拡大

懇談会開催さる

来る七月五日午後一時より保健センターにてオ一回懇談会を開催。患者、家族、関係者の方々二十八名の参加がありました。北海道難病連の伊藤事務局長の開会あいさつに始まり、来賓紹介、世話人紹介後北海道難病連のはなしとして「患者会とは、患者運動とは何か」について講演がありました。ひきつづいて懇談に入り、人工透析の実態や、特定疾患受給者証申請のこと、障害児の保育所入所問題、昨年の全道集集会がきっかけで障害年金がもらえるようになった、視覚障害者の実態等が話され、お互いの病気や、日常生活の中でかかえている困難等を利用する機会となりました。又町側よりこれからもいろいろと援助していきたいと思う皆さんも会員の拡大に努めていただきます。一日も早く支部結成となるよう頑張ってくださいとのことでした。

懇談会出席者

北海道難病連 伊藤事務局長

患者、家族 十四名 (パーキンソン病、ベーチェット病、小鳩会、腎友会、脊髄小脳変性症、視覚リハ協会)

役場民生課 千葉課長

奥村係長

保健センター 岩谷事務長

宮川保健婦係長

春木保健婦

帯広保健所 荒谷、西村両保健婦

ホラニエア音更たんぼの会 丹野さよ山崎え

準備会役員 四名(菅原、穀内、藤田、児玉)

※参加された野々村さんより、みかんの差し入れを頂きました。

※たんぼの会より一〇〇〇円の寄付金を頂きました。

補助金交付について

北海道難病連より 五〇、〇〇〇円

音更町社会福祉協議会より 五〇、〇〇〇円

準備会活動資金として交付されます。

北海道難病連のこれから

七月二十八日、二十九日 全道集集会、分科会

十月七日 難病無料検診、相談会(弘尾町)

十月十日 JPL 全国統一街頭署名行動

お知らせ 七月二十八日に開かれる全道集集会

に参加希望の方は十九日迄に事務局へ連絡下さい。十勝支部と合同での交通手段を考えます。